

令和元年9月号

【発行元】

岐阜県福祉のまちづくり推進協議会
〒501-3246

関市緑ヶ丘2-5-78

TEL : 0120-337-301

FAX : 0575-24-5733

月刊 あったかいご通信

月刊「あったかいご通信」を発行する土地活用研究会は、地域密着の建設会社が福祉施設の開業をサポートする全国50社の国内最大級のネットワークです。毎月、業界の最新情報や成功事例をお届けします。業界全般の最新情報や経営のコツ、利用者募集や人材マネジメントなどリクエストも大歓迎です！

※記事引用 ・厚生労働省 ・国土交通省 ・㈱官公通信社 ・高齢者住宅新聞社 ・福祉新聞 ・日本経済新聞 他

スマホ使って業務の効率UP 職員間連絡やケア記録もアプリで



ボタンを押すだけの簡単操作

千葉県の社会福祉法人福祉楽団（飯田大輔理事長）は、**スマートフォンを活用した業務効率化**に取り組んでいる。職員間の連絡やケアの記録もアプリを利用。

ICT（情報通信技術）化に向けて、専門職員も雇用した。実際に活用する現場を訪ね、導入の効果について聞いた。

「夜勤リーダーから連絡します」ー。福祉楽団が運営する特別養護老人ホーム「杜の家なりた」では、午後9時と午前5時の申し送りをスマホのアプリ「A I d i o E n t e r p r i s e」（アルディオ・エンタープライズ）の音声通話で行う。

職員は常にスマホを携帯し、無線のイヤホンを装着。アルディオを起動し、画面の大きなボタンを押しながら話せば、全員に声が届く。範囲を指定したグループ通話や、個人通話もできる。

アルディオは（株）シアンス・アールが開発した製品で、利用料は1台月600円から。話す内容は**自動ですぐにテキスト化**され、英語やベトナム語など**14カ国語に翻訳**できるのも特長だ。音声も含めてデータが保存されるため、聞き漏らしもない。

また、福祉楽団は利用者のケア記録もスマホで完結する。ケアコラボ（株）が提供するアプリ「ケアコラボ」は、利用者ごとにプロフィールを登録。日々の記録を文章や写真、動画で残すことができ、**分かりやすいデザイン**なのが特徴だ。食事や水分量、排せつなど指定の情報は**家族と共有**する。

このほか福祉楽団では、マットレス下のセンサーで心拍数などを測定し利用者の状態を把握する「眠りSCAN」や、勤怠管理の「サイボウズ」、社内チャット「スラック」など複数のアプリを活用している。

ICT化に向けては費用対効果を求めているわけではないという。しかし、総務部ICT推進チームの平野源さんは「**就職活動中の若手人材の食いつきが全然違う**」と意外なメリットを口にする。

もちろん導入したものの、廃止を検討するサービス中にもある。「介護の現場へのICT導入は、分かりやすいデザインで、**職員の満足度**をいかに上げられるかが鍵だ」と話す。